

各 位

2022年1月17日
株式会社天夢人

刀剣を彩るもうひとつの芸術品、ようこそ美しき「刀装具」の世界へ
鐔、目貫、小柄…、貴重な名品を紹介した『刀装具 新・解体新書』を発売。

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2022年1月17日に、『刀装具 新・解体新書』（生田享子著）を刊行いたしました。

--



名刀を彩る刀装具は、専門の金工師たちが伝統的な技を磨き、さまざまな名品が生まれ出されてきました。「鐔」、「目貫」、「小柄」、「筭」、「縁頭」などの種類があり、それぞれ小さな空間に精緻な細工や技巧が施され、美術的価値も高く武士道の美の極致ともいえます。武士の命を守る刀剣に施された刀装は、機能美と装飾性を兼ね備え、刀装を見れば持ち主の身分や家柄、財力、教養に至るまでわかるとされたほどでした。

古い時代の鉄鐔、刀匠鐔など実用に特化した作品や、将軍家御用達として室町時代から400年にわたり将軍・大名家の刀装を手掛けた「家彫」の後藤家の作品。さらに、「町彫」を

創始した横谷宗珉をはじめ、奈良利寿、杉浦乘意、土屋安親など名工たちが手がけた、なかなか目にするのできない秘蔵の名品の数々を鑑賞ポイントとともにわかりやすく紹介した一冊です。

鐙 つば 各部位の名称と解説

耳 (みみ)
鐙の外周部分。地蔵の柱方によって丸耳、角耳小耳、丸耳、土手耳、打直し耳、磁焼し耳などがある。

小柄鑿 (こづかびつ)
切刃合の裏側に設けられた小柄を差すための孔。

中心孔 (なかごゑ)
刀の茎 (なかご) を通すために鑿に開けられた孔。

鍔金 (せめがね)
刀の鑿を保護する際に、刀がたつかないよう鑿の中心孔の上下に鍔金を鍔金。鍔金をかきとるいやすい鍔金が用いられることが多い。

地 (じ)
鐙の地肌のこと。



覆輪 (ふくりん)
鐙の耳を全面の覆輪で包んだもの。覆輪と鍔金の役割を持つ。

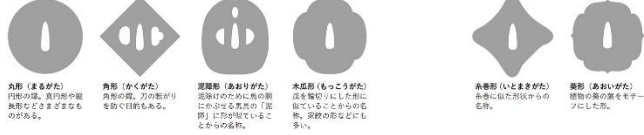
切刃合 (せっぱたい)
鐙の中央にある中央孔の外周。ここに切刃をかけた刀を固定する。

弁鑿 (こうがいびつ)
切刃合の裏側に設けられた弁を差すための孔。

作品
三つ葉葵紋鐙 つばあはらもつば
Mitsuba-awabara tsuba
時代 作者：不明、地蔵：赤松高子地、技法：鍔
鍔金・鍔金鍔・鍔鍔鍔、時代：室町時代 (15
世紀後半)、所在地：京都府京都市、高麗：和歌山、
長7.2cm×横6.9cm

鐙の役割
鐙は、刀を鞘と柄と刀身の間に差し込まれた平たいこと。
鐙の役割は主に以下の4点がある。
①相手の攻撃から手元を守る。
②鞘を握る手が、刀身の方へ滑っていくのを防ぐ。
③鍔金で鍔を押してそっと刀身を出し、素早く刀を抜いて相手に斬りかかる(抜き打ち)をする。
④鞘と刀身のバランスを保つ(持ち手の柄と刀身とでは、刀身の方がずっと重いため、刀を持つ手に負担がかかって重く感じる)。そこで鐙の鍔元に鍔を嵌んで手元鞘を握ることでバランスを取り、重さを軽減させる。

主な種類



加納夏雄 (Kano Natsuo)

加納夏雄 (かのなつお) Kano Natsuo
はつどうめい Kato zō meiji
波濤図目貫

鑑賞ポイント
夏雄流に由来する龍の「動」と、裏目貫に見る龍の「静」と、同じ龍をモチーフにした異なる装飾のデザイン力には驚かばかり。

表目貫

裏目貫

作者紹介
加納夏雄
(1892-1968)
明治時代の新装飾運動を担った加納夏雄は、夏雄流に由来する龍の「動」と、裏目貫に見る龍の「静」と、同じ龍をモチーフにした異なる装飾のデザイン力には驚かばかり。

① 龍は動いて、かすかにさか風が吹く様子。② 裏目貫に刻まれた龍の姿は、龍の力が雲霧をよき引き立たせる。うねる雲、かすかに吹く風を象徴し、龍の力が強に吹かされて高く舞い上がる様子までが表現される。③ この龍は、夏雄流の龍に、龍の姿をよき立たせる雲霧をよき立たせる。④ 裏目貫には「夏」の字が刻まれている。⑤ 裏目貫には「夏」と、動かない龍の姿が刻まれている。⑥ 裏目貫には「夏」と、動かない龍の姿が刻まれている。

加納夏雄 (Kano Natsuo)

加納夏雄 (かのなつお) Kano Natsuo
はつどうめい Kato zō meiji
名人夏雄が描き出す 優美な吉祥文の波

表目貫

裏目貫

後継的な曲線のフォルムに、一瞬で目を奪われる。
モダンアートの最先端を行くこの作品の作者は、東京明治の花工加納夏雄である。彼が描き出す波は「永遠」を象徴する吉祥文。そんな波を夏雄が描くと、これほどまでに優美な曲線に生まれ変わる。
国内で最も有名な作者といっても過言ではない夏雄だが、その魅力は空間処理の上書きだけでなく、卓越した技術力と

表目貫にもあることが、この作品を見ていると大いに納得できる。

表目貫 3.6cm
裏目貫 3.5cm
厚み 0.9cm

Qingqi, jingzhuo

おどろく？でもか
からこの？きす？ひびく？ふん？しる？
大森英秀
Onori Teruhide
からこの？きす？ひびく？ふん？しる？
Karaku yingzi zu haku + fushigashira

唐子遊戯図鐿・縁頭

【制作】鐿：大森英秀（匠師）、鍍金：赤野春明、技法：高野・金
漆工：高野春明、彫刻：高野春明（18世紀後半）
所蔵：個人蔵

作者紹介
大森英秀
(1730-1798年)
鎌倉伊豆に幸んだ大森
重吉の孫で、おどろく唐
子となって大森鐿が作
る。徹頭で22年間に
かけた遊戯に金銀の玉
を飾らず「光沢溜」や、
縁頭に装飾しような念
私地平衆歌を考案して
人気を集めた。大森鐿を
大きく発展させた。



表

Karaku yingzi zu haku + fushigashira

屏風絵の世界から 飛び出てきた唐子の姿

【制作】鐿：大森英秀（匠師）、鍍金：赤野春明、技法：高野・金
漆工：高野春明、彫刻：高野春明（18世紀後半）
所蔵：個人蔵

鑑賞POINT
唐子鐿の表裏は、金地に桂
肉花と唐子があしらわれた
豪華なもの。単に彫られて
いる唐子のふっくらとした様
や、縁頭を上げる仕草の細
事に名人技が光る。



裏

鳴り物の音とともに、紙やかきなどもち
の音が聞こえてくるよ。太鼓に合わせ
て唐子舞を踊り、花車をよく可愛ら
しい唐子を、多彩な色で華やかに
描いた鐿と縁頭の細い金具である。素
雅な中国風の文様を帯に書けて、流し
に流した金具を、細細かな彫刻に、様
々な色金が効果的に加えられ、まるで
屏風絵の世界



7.3cm

7.4cm

大森英秀 おどろく？でもかからこの？きす？ひびく？ふん？しる？

Kiku no haruki

このはるあき
Kiku Haruki
このはるあき
Kiku no haruki

菊花図小柄

【制作】鐿：大森英秀（匠師）、鍍金：赤野春明、技法：高野・金
漆工：高野春明、彫刻：高野春明（18世紀後半）
所蔵：個人蔵

作者紹介
大森英秀
(1730-1798年)
鎌倉伊豆に幸んだ大森
重吉の孫で、おどろく唐
子となって大森鐿が作
る。徹頭で22年間に
かけた遊戯に金銀の玉
を飾らず「光沢溜」や、
縁頭に装飾しような念
私地平衆歌を考案して
人気を集めた。大森鐿を
大きく発展させた。



裏

Kikku zu kozukko

多彩に咲き誇る 菊花の美しさ

【制作】鐿：大森英秀（匠師）、鍍金：赤野春明、技法：高野・金
漆工：高野春明、彫刻：高野春明（18世紀後半）
所蔵：個人蔵

鑑賞POINT
色香を多用した作品を特徴
とした唐子鐿らしく、多彩
な色金を用いて装飾された極
め美しい菊花が、唐子鐿
のふっくらとした様や、縁
頭を上げる仕草に添って
きた。



表

まるで女性的美物の精緻感のような、色
とりどりに咲き誇る菊の美しさ。
後園作用を持つことから「長寿延年」の象
徴でもあった菊花を彫り上げた豪華な小柄
である。巧みな彫造りによって精密に彫り
上げた数種類の花を、金・銀・素銅の彫造り
美しく彫り、まるで写立のような作品に仕立
でられている。



9.65cm

1.4cm

大森英秀 おどろく？でもかからこの？きす？ひびく？ふん？しる？

【目次】

はじめに

第1章 刀装具の基礎知識

刀装具って何？…

刀装具の成り立ちと鑑賞のポイント

主な金工流派

刀装具 各部位の名称と解説

鐺

小柄

筭

縁頭

目貫

刀装具の用語解説

第2章 刀装具 作者別・作品紹介（作者50音順）

- | | |
|------------------|------------------------|
| 青木春貫 鶏合せ目貫 | 赤坂忠重 八橋透図鐺 |
| 石黒是美 芦原に水鳥図大小縁頭 | 石黒政常 親子鶏図縁頭 |
| 泉公士郎 水龍図鐺 | 一宮長常 犬図目貫 |
| 岩本昆寛 芦に白鷺図縁頭 | 埋忠明寿 檜図鐺 |
| 海野勝珉 鬼鍾馗図目貫 | 大月光興 笠乗仙人図小柄 |
| 大森英秀 唐子遊戯図鐺・縁頭 | 大森英昌 枝牡丹に蝶図二所物 |
| 泰山元孚 二疋狗子図鐺 | 尾張 瓢箪透図鐺 |
| 金山 花先に杉森透図鐺 | 金家 猿猴捕月図鐺 |
| 加納夏雄 波涛図目貫 | 河野春明 菊花図小柄 |
| 古甲冑師 糸巻透図鐺 | 古金工 這龍目貫 |
| 古正阿弥 龍田川図鐺 | 古刀匠 三日月透図鐺 |
| 後藤祐乗 韋駄天鬼金目貫 | 後藤宗乗 二疋龍図小柄 |
| 後藤乗真 龍図三所物 | 後藤光乗 色絵聖之筭 |
| 後藤徳乗 龍虎金目貫 | 後藤栄乗 波に弦月図筭 |
| 後藤顕乗 孔雀羽根図三所物 | 後藤程乗 十二支図二所物 |
| 後藤廉乗 満月帰帆図小柄 | 後藤一乗 七福神図三所物 |
| 阪井俊政 龍虎図小柄 | 篠山篤興 狗児図鐺 |
| 柴原寿良 孟宗図縁頭 | 志水仁兵衛 老唐松に鼻図鐺 |
| 杉浦乗意 関帝図小柄 | 染谷知信 山水図鐺 |
| 津尋甫 山百合図縁頭 | 土屋安親 張果老図透鐺 |
| 奈良利寿 雨下猛虎図鐺 | 西垣勘四郎 苦舟透図鐺 |
| 信家（初代） 瓢唐草・七字題目鐺 | 信家（2代） 運有天・七字題目鐺 |
| 萩谷勝平 秋草に鶉図縁頭 | 橋本一至（2代） 春秋草花千鳥図大小鐺 |
| 浜野矩随・奈良利寿 明鳥図鐺 | 浜野政随 江戸名物 三囲神社・日本橋図二所物 |
| 林又七 桜文二重唐草象嵌鐺 | 平田彦三 二引両透散紙象嵌鐺 |
| 宮本武蔵 一羽雁目貫 | 伝宮本武蔵 時雨雁図小柄 |
| 横谷宗珉 一疋獅子目貫 | 横谷宗與 蝙蝠図二所物 |
| 米光光正 双巴透叢雲象嵌鐺 | |

Column

「柱絵」誕生を促した刀装具

信じる者は救われる？

切支丹鐔の謎

あとがきにかえて

以上

【筆者プロフィール】

生田享子（いくたきょうこ）

学習院大学文学部史学科卒業（日本近世史専攻）。同大学史学科研究室副手、同大学史料館学芸員を経て、現在（公財）日本刀文化振興協会特別 研究員。

【書誌情報】

書名：『刀装具 新・解体新書』

仕様：A5版 160ページ

定価：2420円（本体2200円＋税10%）

発売日：2022年1月17日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/2WAn3su>

【株式会社天夢人】 <https://temjin-g.com/>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道（奇数月21日発売）』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当：野口

Tel: 03-6413-8755 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://temjin-g.com/>